

元旦メッセージ-第 1.2.3RUTC の実現
第 2 講：新しい枠を整えるべき（使徒 9：15）

▶序論

▶アメリカを始めとする全世界で同時にいまメッセージを聞いています。100ヶ所以上で、放送を通じてともに礼拝をささげています。まず先に、皆さんがなぜそこにおられるのか知らなければなりません。また、多くの多民族の方々が韓国に来て、いまここで礼拝をささげています。なぜここに来たのかを知らなければなりません。多くの方々に、問題、苦しみが来ることもあります。その問題によって苦しいということの前に重要なのは、どうしてそれが来たのかを知らなければなりません。また、私たちに答えが来ることもあります。答えられたということよりも重要なのは、答えられた理由を知らなければなりません。

▶第 1.2.3 RUTC-聖書には、大きな歴史が 3 つほどあります。

①Remnant（残りの者、散らされた者、旅人）

▶聖書の歴史の中には、全世界に多くの民族の人がいましたが、そこで福音を受けた隠された者がいます。その福音を受けたものを指して「残りの者」と言っています。そして、「散らされた者」とも表現します。あるいは、彼らを「旅人」とも表現しています。英語ではそれをレムナント（Remnant）と表現しています。だから、私はこの Remnant という単語を使いました。

▶聖書には、この第 1.2.3 のレムナントの歴史が 3 度ほど流れています。この理由をわからなければ、どうして私がここに座っているのかがわからなくなります。そうすると、道に迷ってしまったということになります。道に迷ってしまいますと、自分の働きのどちらが正しいのかもわからないし、聖書のみことばもこんがらがってしまいます。

▶多くの人々は、レムナントという単語をもって、いろいろとおかしい解釈をして、私たちだけが残された者だと言っていますが、そういう意味ではありません。この世の中に多くの立派な人々がいますが、神様が皆さんを召された理由がここにあるのです。

▶聖書の話がだれでしょうか。特にエジプトからは、このレムナントを通して主が働かれたということです。能力のある者、力のある者が多かったのですが、イスラエルは捕虜になりました。しかし、そこで福音を受けたレムナントを通して働かれたということです。ローマの時代にも様々な知識人が多かったのですが、福音を持ったレムナントを通してローマを征服していったのです。そこで今日、皆さんがだれであるかをすぐにわかるはずです。

②Unity

▶それで、神様が私たちを召された理由を本当にわからせるために集まること、その単語が（U）、Unity です。

③Training

▶レムナントである私がどうしてここに集められたのか、それを実際に私が知っておく必要があるのです、訓練させる場が必要です。Training。

④Center

▶そして、これらの意味をおいて訓練をしていく場所、集いをする場所、Center です。それで RUTC という言葉は使ったのです。

▶この RUTC という言葉は、聖書を要約した単語です。これは偶然に作った言葉ではありません。聖書全体の流れ、歴史を要約するために、この言葉が出てきたのです。

▶これらの内容（第 1.2.3RUTC）を今年は「実現」させていきたいと思います。実現、そのためにはどうしたらよいのでしょうか。昨日は、私たちの間違っている枠を壊すべきだとお話しました。これを実現させるためには、新しい枠を作っていかなければなりません。今日、偉大なるメッセージを神様がパウロに与えられました。使徒 9:15、「行きなさい。あの人是我の名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です」と言われました。想像がつかない言葉でした。まだパウロは、多くの福音をもっている人々を捕らえに行くような者であったのですが、主は彼をこのような器として召す約束を与えられたのです。

▶お正月となりまして、多く使う言葉が「あけましておめでとうございます」です。また、英語では「Happy new year」と挨拶をします。また、今朝、テレビをつけましたら、100 歳になったキム・ヒョンソク教授が出てきまして、幸せに関するお話もありました。ストーリーを見ると感動的な話が良かったです。

教授は言われました。仕事を幸せにこなさなければならない。そうでないと大変になるから。そのような内容を放送で見ました。本当に互いに愛し合ってこそ幸せになる。本当に素晴らしい言葉であると思います。特に私たちの民族、国家を愛してこそまことの幸せを知ることができる。彼らのために奉仕できることが幸せだとおっしゃっていました。キム・ヒョンソク教授らしい話を述べてくださいました。その方は、成功された方ですから成功的なお話をしてくださいました。

▶しかし、聖書はそうに語っていません。

1) 12 の問題

▶聖書は、人間にどうして苦しみが来たのかについて説明しています。世の中にあって成功された方が 10%程度であれば、ほとんど 90%の方は成功していません。聖書は、重要な 12 の問題について語っています。この問題は知らなければなりません。そうです。人々は、12 の問題がわからないために、間違っていることをずっとやりだしてしまいます。発展はしているものの、その裏腹に皆苦しんでいるということです。これは切ない話です。教会さえもそのような状態に陥ってしまうといけません。皆さんも、そして、牧師先生までもそうなってしまいますと、教会をやっていく理由がなくなってしまう。

▶エジプトは強大国でした。ところで、本当に強国だったのでしょうか。続けて戦争を起こし、続けて苦しみの中にあり、国は無くなってしまいました。アッシリヤとバビロンが本当に成功した国だったのでしょうか。ずっと戦争だけしかしていません。間違ったことを続けてやっていたためにうまくいきませんでした。だから、個人もうまくいきません。教会もうまくいきません。うまくいきそうにいつも希望だけを持った人生を送りますが、結果的にはうまくいきませんでした。

▶皆さん、よく見てください。ローマ皇帝が現れて、「イエスはキリストです。イエスは主です」と告白しました。だから、皆がキリストを信じなければなりません。そして、私たちのローマの国教をキリスト教にしようと言いました。AD313 年頃にコンスタンティヌスという皇帝がそう言われたのです。そうすると、それらを聞いた人たちは、すごい人だ、すごいことだと思いませんか。しかし、その時から福音は消えてしまいました。なぜなら偉大なる人々が教会に集まるようになりました。皇帝が礼拝をささげにいくのに家臣が行かないでしょうか。信仰というよりは、ただ教会に皆行きました。

▶皆さんの頭ではすごいことに見えるかもしれませんが変えなければなりません。皆さんは、苦しみの中に見えるように見えるが、残りのものだと言われています。皆さんが苦しみの中に見えるように見えるが、本当に福音をもって、本当に苦しんでいる人を生かさないということで残されたのです。その内容は何ですか。それは神と契約とともにいなければなりません。この部分を私のものにしていく訓練が必要です。(Training)。それを自分のものにできたものは、必ず現場があるはずで。(Center)。これを実現させていくのです。

▶聖書には、重要な問題、12 個について語っています。

(1) 創世記 3 章、6 章、11 章

▶創世記 3 章 - 全く目に見えないサタンがエデンの園から今現在まで行っています。あなたは神を信じなくてもよいということをささやきました。どうして神様を信じるのか。あなたは自分自身を信じなさい。あなたの人生はあなたの力で生きなさい。これが創世記 3:4-5 です。

▶創世記 6 章 - そして、このサタンが人間を助けてあげたふりをしたが、人間を完全に捕らえてしまいました。ネフィリム時代が来たのです。これが創世記 6 章です。

▶創世記 11 章 - あなたは成功すればよい。成功しなさいと教えます。それでバベルの塔を作るようにしました。いまでも同じやり方です。

▶間違っていることを熱心にすれば、もっと損をします。それで人間に苦しみが続いてくるのです。どれくらい苦しまなければならぬのでしょうか。アメリカの町々には、精神病や麻薬患者が並んで座っています。どれほどもっと病む国にならなければならないのでしょうか。

▶教会は悟らなければなりません。もちろんニュースに偉大なる人も出てきますが、それが本当にすごいことなののでしょうか。だから、死ぬ前にマイケル・ジャクソンに正確な福音を伝える人がだれもいなかったのです。マイケル・ジャクソンをすごい人だと皆が見ていたからです。本人はすごい苦しみの中にいたのに。死にそうだったのに。薬を服用しないとイケない状態であるのに。果たしてマイケル・ジャクソンの横に教会に通う人がだれ一人いなかったのでしょうか。間違った見解があるためにそうなってしまいました。人間はこのように落ちています。聖書がそう明かしています。それが創世記 3 章、6 章、11 章の問題です。

(2) 使徒 13 章、16 章、19 章

▶だから人間は努力してあがくしかありません。そこで宗教が誕生しました。そこで偶像を作り出しました。それが使徒 13 章、16 章、19 章です。

(3) 人間の 6 つの運命

- ▶人間は 6 つの運命に陥るしかありません。
- ▶これが 12 個の問題です。聖書はこれを語っています。

2) ただ

- ▶それでは、聖書では、どのようなことを語っているのでしょうか。ただという部分を語っています。ただはなんでしょう。これが奥義です。

(1) 使徒 1 : 1、ただキリスト

- ▶使徒 1 : 1、しかし、ただキリスト。ただでなければ、これでなければ解決できません。これは、キリストだけが合っていますという頑固な思いを通してはいけません。立派なお坊さんにもキリストは必要です。私はお坊さんにキリストが必要だと言いたいです。あなたにキリストが必要です。実際に苦しいではありませんかと。優れた孔子にもキリストが必要でした。
- ▶キリストという言葉は、油注がれた者ということです。サタンに打ち勝った王。私たちは、サタンの戦略に打ち勝つことはできません。それで、神様がキリストを送られ、女の子孫が蛇の頭を踏み砕くと言われました。

(2) 使徒 1 : 3、ただ神の国

- ▶そして、ただ神の国。そうです。世の中を生かす道は、このほかはありません。

(3) 使徒 1 : 8、ただ聖霊

- ▶私たちには本当の力が必要であるために、ただ聖霊。
- ▶聖書はこの話です。

3) 天命

- ▶それとともに重要なことを聖書は 3 番目与えてくださいました。今日、パウロに天命を与えました。「異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶわたしの選びの器です」と言われました。どうしてよりによって王たちと言ったのでしょうか。ヨハネ 16 : 11-14、世の王はサタンです。

(1) サタンの奴隷・エジプトの奴隷になったということ自体が問題ではありません。実は、それはサタンの奴隷になっているということです。

(2) サタンの捕虜・バビロンに捕虜になった。そうです。現実的にはそうですが、実は、サタンの捕虜になったのです。

(3) サタンの属国・ローマの属国になっている。そうそれはそうなのです。でも違います。実は、サタンの属国にされています。

(1) 出 3:18、エジプトで奴隷であったときに、出 3:18、モーセに対して血のいけにえをささげに行きなさいと言われました。血のいけにえというのは何ですか。立派なパロ王はまったく理解できませんでした。立派な政治家と言われている人たちが、まったく理解できませんでした。しかし、出 3:18 によって奇跡は起きていきます。

(2) イザヤ 7:14、また捕虜になっていたときに、イザヤ 7:14、処女がみごもっています。男の子を産みます。その名をインマヌエルと名付けよと言われました。

(3) マタイ 16:16、奴隷、捕虜、それ以上に深刻なのは属国です。この時に現れたメッセージが、マタイ 16 : 16、「あなたは生ける神の御子キリストです」ということです。

▶この内容が成就されること、これが聖書の話です。これが神様のみことばです。他のことは、この内容を成就させていくためのストーリーに過ぎません。これらを成し遂げていくための一つの事件に過ぎないのです。それがそんなに重要なわけではありません。私たちは紅海が分かれました。紅海が分かれたことに感動を受けていますが、紅海が分かれたことはそんなに重要なことではありません。正確に言えば、イスラエルの民がまったく信じていなかったもので、そういった奇跡を見せるしかありませんでした。エリコが崩れたことに感動を受ける必要はありません。信じないからそういった奇跡を起こさせたのです。福音がないためにここまで奴隷になってしまいました。神は 12 の問題を解決する福音を与えたのににもかかわらず、まったく別のことをやっていました。だから、捕虜になりました。

▶皆さん、契約だけを握っただけでも答えられます。皆さんの習慣で信じないかもしれません。あまりにも努力して成し遂げてきた人生であるから。しかし、いま言っている内容は、努力によるものではありません。ただ義人は信仰によって生きると言われています。これが聖書の話です。

▶本論 - それでは、私たちはなにを始めていかなければならないのでしょうか。

いまから皆さんに話をしたこの内容の使命を果たしていくために、3 つを始める必要があります。それは何でしょうか。

1. 私の新しいシステム（枠）を探し出さない。（別のこと+単独+第3のシステム）

▶カッコの中には枠と書きましたが、私の新しいシステムを見つけなければなりません。神様から与えられるシステムです。私の新しいシステムとは、どんなシステムでしょうか。いまから記憶してください。皆さんの問題は苦しみではありません。

1) 別のもの→レムナント7人

▶神様は皆さんに別のものを与えようとしています。この12の問題の中、イスラエルの民は福音がなかったから、7つの災いの中に行くしかありませんでした。全世界に福音を宣べ伝えなさいということで、イスラエルの民を選んで福音を与えたのに福音を伝えないから7回もの災いを受けたのです。

▶しかし、この7つの災いがあるために、少数のレムナントを通して福音運動をさせました。レムナントという言葉には、意味が大きく2つあります。残りの者という意味もあれば、もう一つは捨てられた者という意味もあります。また、ゴミとかクズという意味でもレムナントを使います。でも、隠された宝石、隠された宝を指すときにもレムナントという言葉を使います。不思議です。英語の単語なのに使い方によっていろいろ使われています。皆さんが捨てられた者のように見えますが違います。記憶してください。当然苦しみが来るしかない状況でした。この部分の説明は、ここまでしておきます。

▶レムナント7人

私の新しいシステム、別のものが与えられるということを、レムナント7人で説明します。特にヨセフを通して話しますと、パロの王はヨセフを見て、こんなに主の霊に感動を受けているものを見たことがないと言いました。ヨセフが自分の告白をしたときに、他の人は皆あざ笑いました。そして、ヨセフが自分の夢、契約を告白したときに、ヤコブは息子の話を胸に留めました。皆さんにそれがが必要です。今日、皆さん、世界の人々の格言だとかを聞く必要があるかもしれませんが、神のみことばを心に留めなければなりません。そのときに、神様が本当の力を与えてくださいます。いままであった多くの重要なことがあるかもしれません。しかし、神のみことばを留めるとき、本当の力が与えられます。これを見つけると、それで済みです。

▶80年間、成功するために努力しました。しかし、何も得ることができなかった人がモーセです。そんな中、モーセが80歳になったとき、ホレブ山で神様の本当の力を見ました。その後のことはもう言うまでもなく、主の御働きを体験していきます。その力を、神様は皆さんに与えようとしています。これを発見してください。すでにこの約束というのは、この力は、約束どおりに来るしかない状態です。この説明をすべてしなくてもお分かりだと思います。レムナント7人というのは、イスラエルの7回の災いのたびに起こされたレムナントの代表者を指しています。この答え以上は必要ありません。

2) 一人（単独システム）

▶それでは、皆さんの苦しみはだれも助けることができません。だから、神様は皆さんが一人で生きられるように単独システムを与えてくださったのです。必ず覚えてください。一人。単独システム。皆さんがひとりでどこにいらっしやっても構いません。この一人の単独システムは、皆さん一人で祈れることができる唯一のシステムです。皆さんが一人でいてもこのように祈れるならば礼拝が生かされます。英語で表現してみます。

(1) WITH - 神様が皆さんとともにおられると約束されました。皆さんが失敗しているかのように見える時も、神は皆さんとともにおられます。

(2) Immanuel - また、もう一つの単語を見てみましょう。インマヌエル、私たちとともにおられる。

(3) Oneness - そして、もう一つの単語を見ます。皆さんの生活の中で、とうとう神の御働きが起きます。それを指してワンネスと言います。

▶この3つの単語です。この3つのシステムを整えてくださいということです。

3) 第3のシステム

▶神様はこれだけで終わりにしたわけではありません。聖書の中で本当にやっていかなければならない第3のシステムがあります。それは何でしょうか。多くあると思いますが、一つだけ申し上げます。皆さんをいままでこのように導いてくださったその理由です。いま皆さんがそこにいらっしやる理由、この理由を見つけなければ、すべて逃すことになります。

▶奴隷としてヨセフを売ってしまった理由です。果たしてそれは本当に奴隷だったのでしょうか。皆さんの苦しみ、本当の苦しみでしょうか。そうなるしかなかった理由はどこにあるのでしょうか。神様の重要な計画があるということです。それを見つけなければなりません。なぜなら私たちは福音を持っているからです。教会は他のことをやるのではなく、神様が死に行く人たちを生かすこと、これを味わいながら伝えることです。

▶これはすぐに変えなければならない私のシステムです。

2. 教会システムを変えなければならない。(本来のことに見つけなければならない。)

▶時間がありません。一生祈らなければならない部分です。教会システムを変えなければなりません。変えるというよりは、本来の教会の姿を回復すべきです。それでは、教会システムの中での最初です。

1) 重職者、信徒→現場生かす枠(システム) 見つけなさい。

▶すべての重職者と信徒はなにを見つけていくべきでしょうか。教会に来て礼拝をささげますが、皆さんはすべての現場で、現場を生かす枠を持っていたきたいと思います。これが初代教会です。現場を生かすシステムを見つけないければなりません。これがないために教会に来てポジション争いをしています。韓国の教会がいま喧嘩をしている理由も、ポジション争いゆえに喧嘩をしています。教会の中にはポジションが一つしかありません。そのポジションに自分が行かなければならないから、だから、喧嘩をするのです。昨日もお話しました。聖歌隊の指揮者のポジションは一人しか必要ありません。それなのに、その一つを自分でやろうとするから喧嘩になるのです。外の現場に出てみてください。いくらでもあります。見つけなければなりません。

2) 教役者→現場牧会

▶すべての教役者、すべての副教役者です。現場の牧会を見つけてください。すべての重職者と信徒は現場の見張り人であり司令官です。これを見つけてこそ何かが成り立っていきます。

▶例えば、この人が重要な人だとします。私がこの人を生かしますと、この人は何も言わなくても、この人も私を生かすようになるでしょう。パロ王を生かしたので、パロ王はヨセフを昇進させました。それが神の民のやることです。いや、そんな難しいことをどうやってするのですか。いいえ、いちばん簡単なことです。神の民が、神の契約を離れ、別のことをやりだしているということが難しいことです。結局はうまくいかないからです。

▶すべての副教役者は、現場牧会を始めてください。私はいろいろとローテーションさせながら教役者をあれこれ変えること、それも必要ですが、あまり正しいとも思いません。一つの地域を重職者と手を取り合って、完全に回復していかなければなりません。こちらには佐土原牧師を始め、多くの多民族がいます。牧会できるようにサポートしてください。教会の中で存分に牧会できるように。いまの建物はシステムがありませんが、後に施設を与えてください。実際的に私たちは、全世界の教会は、多くの祝福を逃しています。

▶だから、副教役者たちの考えの中には、どこか良い現場はないだろうかと、いつかは出ていくということしか考えません。現場を回ろうとしても交通費もありません。こんなことを教会でやっています。教会で活動をたくさんしている人には、たくさんの活動費を与えなければなりません。それが世界福音化です。その枠を変えなければなりません。本来の教会の姿に…。いまはうまくいかない条件ばかりを揃えています。私は韓国の大型教会を見て危険だなと思っています。IQがどれほどか分かりませんが危険です。後に教会の門を閉じます。問題が来ます。どうしてそんなことをやるのでしょうか。後に問題が来るということは確実なのに、どうしてそれをやり続けるのでしょうか。皆さんは、速やかに教会の新しいシステム、新しい枠を整えなければなりません。

3) レムナント→RUTC

▶それでは、すべてのレムナントはどのようにしなければならないでしょうか。皆さんの学業をRUTCという新しい枠の中で始めなければなりません。ひょっとしたら皆さんの勉強が損する勉強をしているかもしれません。そうだと思いますか。RUTCという新しい枠の中で、新しいシステムの中で勉強してください。皆さんの学校が皆さんのRUTCです。そうですよね。皆さんの学業がRUTCです。RUTCは、聖書の旅程を要約したものです。必ず理解しなければなりません。聖書全体を一つの単語にして伝えようと思うからRUTCにしました。

3. 伝道、宣教の枠を変えなければならない。(本来のことにしなければならない。)

▶伝道、宣教の枠を変えなければなりません。枠を変えるというと誤解するかもしれませんが、本来の伝道と宣教を回復すべきです。神様から与えられた伝道と宣教をするということです。

1) だれも与えられない答え→7つのタラントを捜し出さなければならない。

▶1つ目です。だれも答えを与えることができない部分、7つのタラントを見つけないければなりません。だれも与えられない答えを与えませんか、多民族がここにいっぱいいてもいつかは帰ります。7つのタラントです。ユダヤ人たちが世界征服した7つの方法に対して、私たちの契約的ないやしの方法です。

①ユダヤ人はタルムード、シェマ、トーラーを勉強しながらタラントを探します。私たちは、神のみことばの中で、自分のタラントを見つけていくことです。

②神の者が歩んできた足跡の流れを見ながら、自分のタラントを発見していくべきです。

- ③ユダヤ人は3つの祭りを強調しましたが、私たちは、キリスト、神の国、ただ聖霊、3つの祭りの中で、自分のタラントを見つけていかなければなりません。
- ④その時から、礼拝に成功するようになります。そこから自分のタラントが続けて生かされていくようになるのです。
- ⑤そこから、ただ
- ⑥唯一性
- ⑦再創造ということになっていきます。
- ▶これを見つけていく伝道、宣教が必要であるということです。
- 2) だれも行けない現場→ 7つの現場に行きなさい
- ▶2つ目です。だれも行けない現場に行くことです。だれも行けない現場がどこですか。7つの現場です。この7つの現場は注意深く聞いてください。7つの現場とはどこでしょうか。
- ①1つ目。福祉です。福祉をやっているふりをしてください。お願いします。福祉をするふりをしてください。そして、福祉の対象者がこれからはもう二度と福祉の対象者にならないようにしてあげるのが本当の働きです。
- ②NGO もやっているふりをしてください。NGO をやるふりをして、本当にその国がもう二度と NGO の支援を受けなくてもいいように自立できるようにさせるのが本当の伝道です。いま7つの現場の話をしています。
- ③文化もそうです。文化をしているようにしながら、文化の中には病んでいる人がいっぱいいます。彼らを生かしてください。
- ④そして何ですか。未自立。90%の人たちが自立をしていません。その人たちが本当の答えを受けるように助けてあげてください。そうです。神様のみことばさえ受ければ生かされるのに、別のものを与えているのではありませんか。ただただ助けてあげて終わり。もちろん助けてあげるふりをしなければなりません。そうでなければ会うことはできませんから。とても残念です。本当に皆さんが神様の契約を握りまして、皆さんの次の世代が来たときには福音運動が本格的にできるようにしてあげなければなりません。
- ⑤脱北者、難民がたくさんいます。真心から皆さんが助けてあげるふりをしてください。真心で助けてあげてください。しかし、彼らに弟子が隠されているために、本当に福音を伝えなければなりません。
- ⑥多民族です。この伝道をまともにしなければなりません。多民族、今あまりにも多いです。これもできます。あれもできます。その方法も良いと思います。でも、それもただやるふりです。その中に本当の弟子が隠されています。その弟子を逃してはいけません。だから、彼らに正確な福音を伝えてあげなければなりません。それ以外のことは間違っています。だから、アメリカ、ヨーロッパ、先進国の教会の門は閉じています。お金がなくて門を閉じているのではありません。能力なくて門を閉じているのではありません。本当は、本当の中身が無いからです。うわべだけであって、中身が一切ありません。灯台はあるけれども、全く油がない状態です。このような現場にはだれもいきません。福音を持っている皆さんしか行けないのです。
- ⑦7つの現場の中で最後の現場は何ですか。エリートです。病んでいます。エリートに行くことはできます。しかし、彼らに教えることはできません。エリートですから、下手に直すこともできない。でも、病んでいます。彼らを生かすことのできる答えを持っていなければなりません。
- ▶これが伝道と宣教です。残りのことは、皆さんが応用してください。私の説教はわかりにくいところがたくさんあります。おかしいことをいっぱい話していますし、皆さんとはあまり一致しないようなことをたくさん話しています。けれども、皆さん、祈らなければなりません。伝道現場に行って人を生かしている人は、すぐに理解できるはずです。
- 3) だれもできない7つの地獄現場→ 生かしなさい
- ▶3つ目です。伝道、宣教を正しく回復しなければなりません。だれもできない7つの地獄の現場があります。これを生かさなければなりません。7つの地獄の現場はなにか。すでにお話しました。
- ①TCK (第3の文化圏の人-空いた所) - 全世界の TCK とされる人たち、この人たちがいま深刻です。彼らに正確な福音を与えて伝道者に変えていくことです。TCK とは何でしょうか。第3の文化圏にいる人たちです。皆さんはよくわからないかもしれませんが深刻です。
- ▶エステルさんのような場合は、神様の祝福で大成功を収めました。世界にメッセージが届けられるように通訳をしているから大成功ではありませんか。福音を伝える旦那様にお会いして大成功ではありませんか。それはミス・コリアも受けられない祝福です。ところで、エステルさんはアメリカ人です。でも、顔は韓国人です。これらを指して、第3の文化、TCK と言います。ところで、エステルさんのよう

に成功している人はいいのですが、成功していない人は普通の問題ではありません。この顔でアメリカの人には受け入れられません。結局、エステルさんが持っているこのキャラクターは韓国の方でもそれが受け入れられない。このように、どちらの方にも属されない人、それを第3の文化圏の人と言います。このような人たちの中で苦しんでいる人たちがいっぱいいますから、これを変えていかなければなりません。

②脱北者/難民 - 7つの地獄の現場をご存知でしょう。脱北者、被害者もここに入ります。世界の難民の方々です。彼らを本当に生かしてあげなければなりません。彼らに申し訳ありませんが、脱北者は精神的に正気ではありません。彼らは死を何度も乗り越えてきました。難民の人々は、自分たちの国から出てくる最中に、自分の友人、兄弟、家族が水の中を泳ぐ際に死んでしまった、そんな光景を見ながらも自分は越えてきました。そんな大変な方々にプレゼントをいくつか渡して誘惑しようとする。教会がそうです。だから、だれも行けない現場なのです。そこで皆さんが福音を持って入ってください。これが伝道であり、宣教です。

③もちろんまったく文化的にもいろいろな部分において恵まれていない人もいますが、

④高位層、芸能人、このような人々もほとんど捨てられた状態です。彼らも実は大変です。福音がないので病んでいます。もしも彼らを生かすことができるなら、多くの人を生かすことができます。私は芸能人が自殺したというニュースを聞いたとき、いろいろな思いがよぎります。もちろん記事には事件についての内容がいろいろ書かれていますが、違うと思います。実は、その自殺をした人は、長い間、難しかったのです。霊的に。教会に行けばいろいろな奉仕をするといいて教えますが、それでは解決されません。教会に行けばいろいろとおあかしをさせますが、あかしをした後は余計虚しくなります。芸能人だから皆に認められ人気があるので拍手をもらいます。しかし、その拍手で彼らの霊的問題を解決することはできません。皆、このように地獄の現場で死んでいっているのに、私たちはいま別のことをやっています。そこで国を愛するキリスト連盟の方からこの7つの現場、地域を攻めていこうと思っています。

⑤全く入ることのできない完全死角地帯の現場、青少年犯罪の現場です。

⑥完全なる災い地帯、中毒の現場です。

⑦そして、もっと大きな未来の地帯があります。だれも手を触れることができないでいる人材の現場です。だから、237カ国を生かすためには、まず、いま言ったこのような現場から福音を持っていきたいと思っています。昨日もお話しましたが、海外の大人の方々を助けるというのは臨時的なことであって、本当の伝道、宣教はもっと若い人材、子どもの人材から育てなければなりません。これがまことの伝道、宣教です。パウロが会堂に入った理由もそこにあります。

***結論 - 五時代がくるだろう。**

▶言葉を締めくくろうと思います。皆さん、今日の元旦メッセージを1年を通して祈らなければなりません。理解できない方は待っていてください。1年間ずっと講壇で説明していきます。皆さんが1年の間、説明を聞いても理解しきれないかもしれません。なぜなら、この中にはとても多くの神様の内容が入っているからです。私たちが神様から与えられた私のものと教会と伝道、宣教を回復しなければ何もできないと思います。

▶結論です。これから5つの時代が来ます。

1) 紛争時代→ 愛の奉仕団

▶1つ目は紛争の時代です。ずっと戦います。ですから、単純に伝道すると言ったらまったく疎通できないので、愛を贈る奉仕団です。

2) 理念時代→ 感謝ヒーリング奉仕団

▶次は、どの国も同じです。理念の時代が来ます。どちらが保守派だとか、改革派だとかいろいろあるかもしれませんが、続けて理念の時代が来ます。ここで崔貞熙勸士さんを中心に、感謝ヒーリング奉仕団というものがあります。これらを通して現場に入っています。本当にこれから大きな伝道の門になっていくと思います。

3) 精神病時代→ ドリーム(Dream)キャンプ(学校)

▶いまもすでに来ていますがもっとひどくなります。精神病の時代が来ます。そこで私たちが準備しているのが Dream キャンプです。この間もやりました。この Dream キャンプというのは、主に学校の現場に入っていきます。

4) 中毒時代→ 未来キャンプ(大学、軍隊、刑務所)

▶中毒時代が来ます。すでに来ていますがもっと来るとしています。そこで、大学、軍隊、刑務所まで掘

り下げて入っていき、未来キャンプをしようとしています。昨年一年の間に、このチームを通して、実際に準備をしてきました。

5) 混合民族時代→ (237 宣教)サミットキャンプ

▶そして、混合民族時代、多民族時代です。もちろん多民族でもあると思うのですが、いろいろと混ざるので混合民族時代が来ます。多民族とは言わずに、これをあえて混合民族時代としました。お互いに行ったり来たりするようになり、結婚するような時代が来るということなのですが、さらにこのような民族時代が来ると思います。

▶それで 237 宣教、サミットキャンプです。237 宣教です。いまこれらを準備しています。

▶では、今日の内容は、皆さんの生涯の祈りの課題として祈っていかなければなりません。神様がすべてのものを揃えて、そして、答えを与えてくださる道があります。

◆決断 - 今日、みなさんが下さなければならない決断だ。(使徒 9:15)

▶皆さんが今日、決断をしてほしいです。神様はこの決断を下したものに、すべての祝福を注いでくださるでしょう。この時から、皆さんがいやされたいと思わなくてもすでにいやされているはずですが。皆さんの霊的問題は悩むなら悩むほどいやされません。けれども、ある日、神様のみことばでいやされます。誰にその答えが…パウロにでした。使徒 9:15、この決断をしたパウロに、神様はすべての祝福を与えました。そして、パウロが行く所々にいやしの働きが起きました。その上パウロはまだまいやされていないところがありましたが、それよりもっと大きなみわざがなされました。

1) 異邦人 - 主が言われました。あなたを異邦人の前に運ぶわたしの器だと言われました。

2) 王たち - そして、2 番目に、王たちの前に運ぶわたしの選びの器と言われました。

3) イスラエル - 3 番目は何ですか。イスラエルの子孫の前に立てるためのわたしの選びの器であると言われました。

▶実際、この中にすべてが入っています。異邦人であり、イスラエル人であればすべてです。その間に王たちの前にもあなたを立てると言われました。驚くべきことです。皆さんが弱いように見えますが、神様は皆さんをいちばん革新的な現場に立たせて証人として立てるということでしょう。結局、ヨセフは、パロ王の前に立ちました。そうですね。思いよりませんでした。ヨセフは考えてもいませんでした。モーセはパロ王の前に立ちました。そうですね。サムエルはサウル王の前に立ちました。そうですね。結局は、ダビデもサウル王の前に立ちました。結局、ダニエルを始め 3 人の青年シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴのような人物は、全部王の前に立ちました。神はパウロに語りました。「恐れるな、パウロ。あなたはカイザルの前に立ちます」と言われました。

▶皆さんがこの契約を握っていますと、いくつかのことが皆さんに現れます。まず 1 つ目、みことばが成就されます。それで十分です。そして、祈りに対する答えが来始めます。最も重要なのは、皆さんがそれほど心配して悩んでいたそれらの事柄、問題に対するいやしが始まります。だから、イエス様が直接語られました。何事も思い煩うなと。大胆でありなさい。わたしは世に勝ったと言われました。

▶いかがでしょうか。皆さんは、それぞれのお仕事があると思います。必ずこの契約の中で行ってください。今年また多くの伝道の門が開かれると思います。そこで皆さんを通して、この機会に人々を生かしてください。この機会に私のものを見つけ、本当に相手のものを見つけてあげてください。こちらにはいま韓国人以外の外国の方が座っています。どれほど貴重な方なんでしょうか。この方たちが韓国に来ていろいろな仕事も必要かもしれませんが、本当に神様のものを見つけられるようにする必要があります。教会は必ず神様が願われることを見つけなければなりません。伝道と宣教は、無条件なんでもかんでもやるものではありません。神様がやりなさいと言われたことをやるのです。だから、私たちは結論的に 5 つの時代を生かさなければなりません。

▶皆さんはこの働きの証人です。すると、神様はすべてのものを集めて皆さんに与え、皆さんの責任を持ってください。今年大きな神様の恵みに預かり祝福の年になるように願います。

(祈り)

神様、感謝します。私たちに救いを与えられたことを感謝します。それも、ただ福音を与えてくださったことに感謝します。証人として立たせてくださり感謝します。韓国、世界の教会の危機を防ぐ証人となりますように。私たちは小さなものですが、神の御働きをする革新的な場につくことができますように。今日、私がここにいる理由を悟ることができますように。

イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。